



学校だより

令和6年1月9日

ひびき

1月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

あけまして おめでとうございます

校長 大塩 啓介

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年の2024年（令和6年）は辰年です。動物にあてはめると竜（龍）です。辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年と言われています。辰（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、古代中国の神話で神獣とされているので、中国では皇帝のシンボルとなっています。そのため、竜顔は帝王の顔、竜衣は帝王の衣服、竜影は帝王の姿など、帝王にまつわるものには竜がつくことが多く、最上級の意で竜を用いることもあります。こうした権力や隆盛の象徴であることから、辰年は出世や権力に大きく関わる年だそうです。想像上の動物とはいえ、辰（竜、龍）は身近な存在であったことから干支に選ばれたとも言われています。こんな辰年ですが、今年はどうな年になっていくのでしょうか。

さて、先般、昨年末に文部科学大臣が本校に視察にいらっしゃったことを、メールでお伝えいたしました。大臣を始め文部科学省の皆さんが5年2組で児童と給食を食べた後、図書室で横浜市教育委員会と共に、本校で推進していることを説明いたしました。本校の特徴である40分授業、ICTの推進、教科分担制、働き方改革等の方法や状況をお伝えし、質疑応答をいたしました。その後、校内を回り、すべての教室をご覧いただきました。一部の教室では大臣が中に入り、児童の学習の様子を細かく見ていらっしゃいました。文部科学大臣の会見では来年度予算の話が出ていましたが、本校の視察が日本の教育施策に反映されていることが分かり、大変光栄なことと感じました。これもひとえに、素晴らしい児童と、本校の教育活動に深くご理解をいただいている保護者の皆様のお陰と思います。また、そうした児童を育ていただいている地域の皆様感謝いたします。

今年は創立45周年を迎えます。年間を通して様々な取組を進めてまいります。より一層のご協力の程、よろしくお願い申し上げます。